



平成 20 年度 兵庫上越教育研究会総会 (平成 21 年 3 月 28 日)

兵庫上越教育研究会

昨年の 8 月 22 日に我が兵庫上越教育研究会の毎年恒例の夏の研究会が行われました。この夏の研究会も今年度で 21 回目となりました。我が兵庫上越教育研究会は兵庫教育大学と上越教育大学の大学院を修了した群馬県出身者の集まりであり、昭和 59 年以降は上越教育大学修了生だけとなっています。

現在の会員は 140 人ほどになっており、顧問・会長・副会長・委員と各学年代表理事等の役員を中心として運営しています。主に、教育研究紀要の発行、会報の発行、総会・歓送迎会の開催、役員会・理事会の開催、夏の研究会の開催等の事業を行っています。夏の研究会は現在大学院で学んでいる人、戻って現場で活躍している人の発表の場となっており、今年度は 6 人の発表と協議が行われました。いつもながら熱心な討議が行われました。

なお、平成 19 年 8 月 12 日に本会の 20 周年を迎え、この夏の研究会で 20 周年記念大会を実施することができました。上越教育大学学長若井彌一先生をお迎えして、『争訟事例に学ぶ、学校経営・教育実践の危機管理』と題する記念講演が前橋市の上毛会館にて本会会員の 60 人が参加して盛大に行うことができました。若井先生は、日本の各地の学校で起こっている訴訟問題の紹介、学校における危機管理など、研究に裏付けされた実践的な例をユーモアを交えて話されました。参加者の多くは、それぞれの上越での大学院生活を思い出しながら、先生の講演を楽しみ、充実し

た時間を共有することができました。

また、講演会の後に開催された懇親会にも、研究会員が多数参加し、交流を深めました。2 次会での若井先生の「群青」の歌声が、参加者の心に深く響きました。なお、今年度も 1 月 30 日に役員会・理事会、3 月 28 日には総会・歓送迎会を行います。今年度の事業の成果と課題を総括し、来年度の計画を立てることにしています。これからも本会のさらなる充実に向けていきたいと思っています。



兵庫上越教育研究会 会長
群馬県前橋市立宮城中学校
校長

小見 喜久治

平成元年 3 月 教科・領域教育専攻
自然系 (理科) コース修了